令和8年6月 発行

よねこく通信

6/9(火) 米沢鶴城高校の2年生が インターンシップを行いました！

6月9日(火)～１１日(木)の3日間、米沢鶴城高等学校建設環境類2年生３名によるインターンシップ(職業体験学習）が行われ、山形河川国道事務所の業務を体験しました。米沢国道維持出張所には、初日(９日)に訪れ、道路事業や道路管理の重要性について学びました。

○国交省・事務所の概要説明○
○道路の役割・事業の流れ(座学)○



はじめに、事務所計画課から事務所全体の業務概要について、次に調査課から道路事業の考え方や具体的な進め方、道路管理の必要性についての話を聞きました。

○道路パトロール体験○



パトロール車の装備等の説明を受けてから、出発！
道路や歩道に異常がないか点検しながら国道13号をパトロールしました。道路パトロールシステムを使い、タブレットで異常箇所の撮影や記録を行いました。

○路面補修実習○



路面に穴ぼこ発見！　撮影します。



アスファルト補修材を穴に入れます。



スコップでならします。



踏みならしたら、
撮影して、完了！

○刈安除雪ステーション見学○

国道13号の刈安除雪ステーションを見学しました。除雪グレーダの他、様々な種類の除雪車の特徴や役割などの説明を受け、搭乗体験もしました。







○小国道路事業監督体験○

現在工事中の新潟山形南部連絡道路国道113号小国道路の現場2カ所で“工事”の監督体験をしました。

橋梁下部工の現場において施工中の基礎工事で、完成時には確認できなくなる部分の確認を行うものです。



掘削機(ブレーカ)の重さを体験しました。



フルハーネスをつけて、穴の中へ！



掘削面を保護する吹き付けモルタルの厚さの確認を行いました。



職員からの現場説明。



鉄筋かごの鉄筋が正しく組まれているか、長さ・径・間隔の確認を行いました。



測量器械(自動追尾式トータルステーション）を使用して、今後施工する基礎杭中心座標の確認を行いました。

○道の駅いいで見学○

『道の駅いいで』は、“防災道の駅”に選定されており、防災拠点としての役割を果たすための施設や体制を整えています。その施設の一部を見学しました。



道路情報モニターの説明。



このマンホールが災害用トイレになります。



防災用コンテナトイレは、災害時などに必要な場所へ移動させて使用することができます。

○インターンシップ 1日目を終えての感想○

最初は、すごく緊張してあまり発言ができなかったけれど、現場の人達がすごく優しく接してくれて、すごくやりやすかったです。小国道路の途中経過を見させてもらって、1つ1つがすごく大変な作業だと思いました。

はじめは緊張したけど、職員の方々がやさしく接してくださり、とても楽しく、充実した学びを得ることができました。

道路巡視体験や監督体験など、いままで体験したことのないことを体験させていただき、とても勉強になりました。

○まとめと発表○







最終日には、3日間のインターンシップでの体験や学習したことをまとめ、事務所職員の前で発表しました。緊張した様子も見られましたが、堂々と学んだことを発表していました。

3日間、お疲れ様でした！！

国土交通省 山形河川国道事務所
米沢国道維持出張所
〒992-0011 米沢市中田町260-2
TEL:0238-37-5300 FAX:0238-37-5303
http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/syucho/yoneiji/





道路の異状を発見したら、道路緊急ダイヤル(無料) ＃9910 へお知らせ下さい！